（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウイング用賀			
○保護者評価実施期間	2026年9月17日	～	2026年10月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	54	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	2026年9月17日	～	2026年10月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	16	（回答者数）	12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年11月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特に発達障害領域で経験のある有資格者を配置しており、構造化された環境で、きっちりとスケジュール化された活動を行えています	可能な限り、物理的構造化、時間の構造化、活動の構造化などに取り組み、視覚支援を取り入れながらお子さまにとって「分かりやすい」環境で「分かりやすい」活動となるように取り組んでいます	構造化や視覚支援の取り組みをより一層深化させます。
2	100種類以上の研修プログラムで育成された専門性の高い療育スタッフによる発達支援が行えます。高機能・軽度（通常級、支援級）はもちろん、中度～重度（特別支援学校）向けの研修プログラムにより育成したスタッフによるオールマイティな支援が可能な体制になっています 保護者の悩みにしっかりと対応でき、保護者に寄り添えるスタッフが揃っています	施設の課題を本部の人材育成部門に吸い上げ、研修プログラムを策定しています。 実践での取組みの紹介や事例検討などより実践的で役立つ研修となるように工夫しています	年度毎に人材育成計画を策定していますが、来年度もより充実した人材育成施策となるように検討していきます
3	独自開発を含めた自立課題が100種類以上あり、さまざまな発達段階や障がい特性を踏まえた教材が豊富にあり、どんなお子さまの発達にも役立っています グループの約30施設から集約した活動プログラムが300種類以上あり、充実したプログラムでお子さまの充実感が高くなっています	教材開発は常に行っています。 活動プログラムはグループ30施設からのアイデアを常に集約しデータベースに保存し各施設で活用できるようにしています。	常に新しい教材やプログラムを探求し開発していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の出席率が高くない（凡そ２割から３割） 参加いただいた保護者さまからの評価は高く、ご参加いただければ満足していただけると思います。	日常生活が忙しいご家庭が多いのではないか。 放デイの保護者会に対する保護者の期待感が高くないのではないか	普段のやり取りの中で出席を促していきます
2	バリアフリー化されていないことから、ご利用者さまが知的障害、発達障害、ダウン症などのお子さまに偏重し、身体に障がいのあるお子さまの受け入れは限定的となっています	身体障がいを含めて可能な範囲で幅広いお子さまにご利用いただけるように務めてまいります	かけられるコストに限りはありますが、可能な範囲で取り組んでいきます
3			